

神戸市で開幕した第30回NIE全国大会で
開催されたパネルディスカッション
＝31日午後



情報氾濫、新聞活用を 神戸で全国大会開幕

教育現場で新聞を活用する「NIE(教育に新聞を)」の実践報告をする第30回NIE全国大会が31日、神戸市で開幕した。スローガン



は「時代を読み解き、いのちを守るNIE」。日本新聞協会の中村史郎会長は開会式で「将来を担う子どもたちには情報氾濫の時代に情報リテラシーを高めてもらう必要がある、新聞の活用はうってつけだ」と強調した。

県内からは県NIE推進協議会の安倍徹会長とNIE実践指定校の教諭やNIEアドバイザー、新聞関係者ら約20人が参加した。「情報で、いのちを守る」をテーマにしたパネルディスカッションでは、昨年の兵庫県知事選や近年の災害時に交流サイト(SNS)や口コミで誤情報が拡散されたことに触れ、正しい情報を見極めることの重要性を確認した。

兵庫県西宮市立浜脇中の渋谷仁崇主幹教諭は、まちづくりなど防災や減災に関して考えさせる際に新聞を活用していると説明した。作家の小川洋子さんは記念講演で、大会に先立ちNIEの授業を見学したことを紹介。「新聞を取り入れることで、授業が活気づけるを実感した。30年も続いている素晴らしい活動をぜひつなげていってほしい」と語り、新聞を活用する新たなアイデア創出にも期待を寄せた。